

調査の概要

1. 調査の目的

市民の市政に対する意識、意見、要望等を統計的手法によつて的確に把握し、市政運営の有効な手段とする。

2. 調査の設計

- | | |
|--------------|-----------------------------|
| (1) 調査地域 | 相模原市全域 |
| (2) 調査対象 | 相模原市在住の20歳以上の男女個人 |
| (3) 標本数 | 3,000人 |
| (4) 抽出方法 | 住民基本台帳からの等間隔系統抽出 |
| (5) 調査方法 | 郵送調査法(郵送配布-郵送回収、はがきによる督促1回) |
| (6) 調査期間 | 平成25年5月24日~6月14日 |
| (7) 調査機関 | 一般社団法人輿論科学協会 |
| (8) 有効回収数(率) | 1,584(52.8%) |

3. 調査の内容

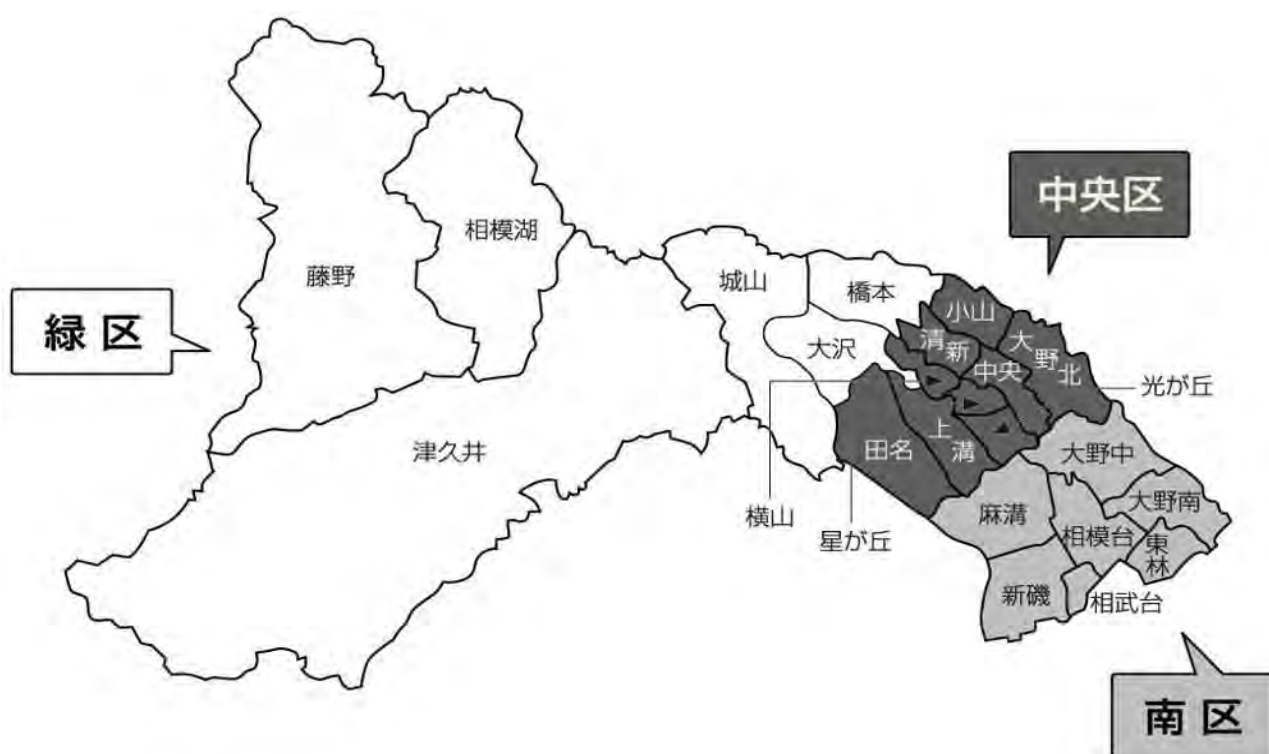
平成25年度 市政に関する世論調査は、7つの項目について調査した。

調査項目	設問番号
1 定住意識について	問1~問3
2 防災について	問4~問5-2
3 日常の買い物について	問6~問7-2
4 ユニバーサルデザインについて	問8~問10
5 情報化施策の推進について	問11~問14
6 子どもの人権・権利について	問15~問17-1
7 市の公共施設について	問18~問23
基本属性(年齢、居住地等)	F1~F8

4. 区別

地 域	地区(対象住所)
1 緑区	橋本地区、大沢地区、城山地区、津久井地区 相模湖地区、藤野地区
2 中央区	小山地区、清新地区、横山地区、中央地区、星が丘地区、 光が丘地区、大野北地区、田名地区、上溝地区
3 南区	大野中地区、大野南地区、麻溝地区、 新磯地区、相模台地区、相武台地区、東林地区

5. 区別・地区別回収状況



区	地区名	標本数	回収数	回収率
緑区	橋本	301	172	57.1%
	大沢	136	66	48.5%
	城山	100	53	53.0%
	津久井	119	65	54.6%
	相模湖	38	21	55.3%
	藤野	41	22	53.7%
	緑区計	735	399	54.3%
中央区	小山	86	32	37.2%
	清新	124	50	40.3%
	横山	57	31	54.4%
	中央	151	138	91.4%
	星が丘	74	27	36.5%
	光が丘	117	57	48.7%
	大野北	236	109	46.2%
	田名	124	64	51.6%
	上溝	138	64	46.4%
	中央区計	1,107	572	51.7%
	南区	大野中	261	123
大野南		307	170	55.4%
麻溝		70	47	67.1%
新磯		56	35	62.5%
相模台		194	81	41.8%
相武台		91	46	50.5%
東林		179	88	49.2%
南区計		1,158	590	50.9%
地域不明分			23	-
合計		3,000	1,584	52.8%

6. 集計結果を見る上での注意事項

- (1) 表、グラフのnまたは、()内の数字は、回答者数のことであり、回答はすべてnを基数とした百分率で表わし、小数点第2位を四捨五入している。
- (2) 集計結果の表やグラフは、コンピューター入力の都合上、回答の選択肢の言葉を短縮して表現している場合がある。
- (3) 回答の比率は、その質問の回答者数を基数として算出した。複数回答の設問は100%を超える場合がある。
- (4) 回答数が30未満と小さいものについては、比率が動きやすく分析には適さないため、参考として示すにとどめる。
- (5) 今回の調査結果による標本誤差は下記のとおりである。例えば、回答者数が1,584である回答が50%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも±2.51以内(47.49%~52.51%)とみることができる。

標準誤差の表

回答比率 回答者数	10%または 90%程度	20%または 80%程度	30%または 70%程度	40%または 60%程度	50%程度
1,584	±1.51	±2.01	±2.30	±2.46	±2.51

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{\frac{\text{回答比率}(1 - \text{回答比率})}{\text{回答者数}}}$$

標本誤差とは、母集団からある数の標本を選ぶとき、選ぶ組み合わせによって統計量がどの程度ばらつくかを、全ての組み合わせについての標準偏差で表したものをいう。